

さいたま赤十字病院産婦人科研修プログラム について

さいたま赤十字病院産婦人科は、関連病院とともに地域医療を守りながら多数の産婦人科医師を育んできました。「さいたま赤十字病院産婦人科研修プログラム」は、この歴史を継承しつつ、2018年度からの新専門医制度に合わせた形で産婦人科専門医を育成するためのプログラムとなっており、以下の特徴を持ちます。

- ・高度医療から地域医療まで幅広く研修を行える研修施設群。
- ・サブスペシャルティ―領域までカバーする、豊富で質の高い指導医。
- ・他科診療科との協力体制。
- ・質の高い臨床研究および基礎研究の指導。
- ・出身大学に関係なく、個々人にあわせて、きめ細やかに研修コースを配慮。
- ・女性医師も継続して働けるように、労働環境を十分配慮。

専門知識/技能の習得計画

基幹施設であるさいたま赤十字病院産婦人科には専用のカンファレンス室があります。図書室も完備され最新の図書を保管しています。そしてインターネットにより国内外の論文がフルテキストで入手可能です。

毎週月・火・木が手術日です。毎朝行われる症例検討会で個々の受け持ち患者の治療方針をプレゼンテーションする機会を設けています。また週1回の抄読会では海外文献を紹介し、最新の知識を得られるよう機会を設けています。周産期分野では総合周産期母子医療センターとして、隣接する埼玉県立小児医療センターの新生児科と連携し、週1回、周産期カンファレンスを開き、主に早産ハイリスク妊娠・多胎妊娠を中心とした管理方法や分娩方法の知識を習得する機会があります。また月1回、小児外科系診療科、小児循環器科、放射線科との胎児疾患合同カンファレンスを開き、小児病院との連携の特色である胎児病の周産期管理の知識を習得する機会があります。

専門知識/技能の習得計画

月1回の病理カンファレンスでは悪性腫瘍を中心とした病理検討を行っています。

そして日本産科婦人科学会、関東連合産科婦人科学会、埼玉県産科婦人科学会などの学術集会に専攻医が積極的に参加し、領域講習受講や発表を通じて、専門医として必要な総合的かつ最新の知識と技能の修得や、スライドの作り方、データの示し方について学べるようにしています。

カンファレンススケジュール

月	火	水	木	金
8:15~8:50 臨床カンファレンス	8:15~8:50 臨床カンファレンス	8:15~8:50 臨床カンファレンス	8:15~8:50 臨床カンファレンス	8:15~8:50 臨床カンファレンス
18:00~18:30 病理カンファレンス (月1回)		17:00~18:00 合同胎児カンファレンス (月1回)		16:30~17:00 合同周産期カンファレンス (週1回)

地域医療に関する研修計画

当プログラムの研修施設群の中で、地域医療を経験できる施設は以下の通りです。いずれも地域の中核的病院であり、症例数も豊富です。

連携施設： 群馬中央病院(前橋市)、前橋赤十字病院(前橋市)、
瀬戸病院(所沢市)、蕨市立病院(蕨市)

これらの病院はいずれも産婦人科医が不足している地域です。当プログラムの専攻医は、これらの病院のいずれかで少なくとも一度は研修を行い、外来診療、夜間当直、救急診療、病診連携、病病連携などを通じて地域医療を経験します。いずれの施設にも指導医が在籍し、研修体制は整っています。

専攻医研修ローテーション

*年度毎の標準的な研修計画

・1年目；内診、経腔・腹部超音波検査、胎児心拍モニタリングを正しく行える。上級医の指導のもとで正常分娩の取り扱い、通常の帝王切開、子宮内容除去術、子宮付属器摘出術ができる。婦人科の病理および画像を自分で評価できる。妊婦健診ができる。

・2年目；婦人科の一般外来ができる。正常および異常な妊娠・分娩経過を判別し、問題のある症例については上級医に確実に相談できる。正常分娩を一人で取り扱える。上級医の指導のもとで通常の腹腔鏡下手術、腹式単純子宮全摘術ができる。上級医の指導のもとで患者・家族からのICができる。

・3年目；帝王切開の適応を一人で判断できる。通常の帝王切開であれば同学年の専攻医と一緒にできる。上級医の指導のもとで前置胎盤症例など特殊な症例の帝王切開ができる。上級医の指導のもとで癒着があるなどやや困難な症例であっても、腹式単純子宮全摘術ができる。悪性手術の手技を理解して助手ができる。一人で患者・家族からのICができる。

専攻医研修ローテーション

・修得が早い専攻医には3年に満たなくとも次のステップの研修を体験させる方針です。

* 研修ローテーション

専門研修の1年目は、原則として多様な症例を経験できるさいたま赤十字病院で研修を行い、2年目以後に連携施設で研修を行います。当プログラムに属する連携施設は、いずれも豊富な症例数および指導医による研修体制を有する地域の中核病院で、腹腔鏡手術件数の多い施設や生殖医療の充実した施設など、それぞれ特徴があります。結婚・妊娠・出産など、専攻医一人一人の事情にも対応してローテーションを決めていきます。なお地域医療を経験できる施設で少なくとも1度は研修を行う必要があります。

当プログラム研修施設群

当プログラムの研修施設群の施設は以下の通りです。いずれも地域の中核的病院であり、症例数も豊富です。

基幹施設：さいたま赤十字病院、 埼玉医科大学病院、
埼玉医科大学総合医療センター
群馬大学医学部附属病院
国立病院機構高崎総合医療センター

連携施設：群馬中央病院、前橋赤十字病院
瀬戸病院、 群馬県立がんセンター
丸山記念総合病院、蕨市立病院

これらの病院はいずれも症例数の多い施設です。高度医療から地域医療まで幅広く研修を行える研修施設群です。

周産期重点コース例

さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修1年目

埼玉医科大学病院
群馬中央病院
丸山記念総合病院
瀬戸病院

腹腔鏡手術
生殖内分泌
周産期

研修2年目

前橋赤十字病院
蕨市立病院

腹腔鏡手術
女性のヘルスケア
周産期

研修3年目

埼玉医科大学総合
医療センター
さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

埼玉県地域医療重点コース例

さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修1年目

埼玉医科大学病院
丸山記念総合病院
瀬戸病院

蕨市立病院

腹腔鏡手術
生殖内分泌
周産期

研修2年目

腹腔鏡手術
女性のヘルスケア
周産期

埼玉医科大学病院
埼玉医科大学総合
医療センター
さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修3年目

腹腔鏡・生殖医療重点コース例

さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修1年目

蕨市立病院
群馬中央病院
前橋赤十字病院
瀬戸病院

生殖内分泌
腹腔鏡手術
周産期

研修2年目

さいたま赤十字
病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修3年目

埼玉医科大学病院
丸山記念総合病院

腹腔鏡手術
生殖内分泌

婦人科腫瘍重点コース例

さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修1年目

蕨市立病院
群馬中央病院
前橋赤十字病院
瀬戸病院

生殖内分泌
腹腔鏡手術
周産期

研修2年目

群馬県立がん
センター

婦人科腫瘍

埼玉医科大学病院
埼玉医科大学総合医
療センター
高崎総合医療センター

女性のヘルスケア
生殖医療
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修3年目

大学院進学コース例

さいたま赤十字病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修1年目

さいたま赤十字
病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
婦人科腫瘍
周産期

研修2年目

蕨市立病院
群馬中央病院
前橋赤十字病院
瀬戸病院

腹腔鏡手術
女性のヘルスケア
周産期

群馬大学附属病院

女性のヘルスケア
腹腔鏡手術
生殖内分泌
婦人科腫瘍
周産期

研修3年目

当院で取得できるサブスペシャリティ

現在修練施設になっているもの

- 日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)専門医
- 日本超音波医学会超音波専門医
- 日本女性医学会認定女性ヘルスケア専門医
- 日本がん治療認定医機構認定医
- 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
- 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医B